

令和6年度 第2回 静岡市在宅医療・介護連携協議会

次 第

日 時 令和7年3月19日(水) 19:15～20:30(予定)
場 所 オンライン

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 議 事 令和6年度 在宅医療・介護連携推進事業実績 (資料1・参考資料1)
- 4 その他 成果に連動した魅力ある介護予防の取組
～静岡市の介護予防の新たな取組「しずおか ちゃちゃちゃ」～について
- 5 閉 会

<配付物>

- ・次第
- ・委員名簿
- ・資料1 令和6年度在宅医療・介護連携推進事業実績
- ・参考資料1 令和4年度在宅医療の提供と連携に関する実態調査報告書【概要版】

**令和6年度 静岡市在宅医療・介護連携協議会
協議会委員名簿**

(氏名50音順)

	所 属	氏 名 (敬称略)
1	市民委員	石上 喜久乃
2	つどいのおかクリニック	岡 慎一郎
3	市民委員	小長井 隆
4	一般社団法人 静岡市ケアマネット協会	近藤 久美子
5	清水薬剤師会	柴田 昭
6	一般社団法人 静岡市静岡歯科医師会	下村 洋介
7	一般社団法人 静岡市静岡医師会	鈴木 研一郎
8	静岡県リハビリテーション専門職団体協議会	瀧 和人
9	清水介護保険事業者連絡会	土屋 攝子
10	静岡市訪問看護ステーション連絡会	坪井 早苗
11	地方独立行政法人 静岡市立静岡病院	縄田 隆三
12	城東地域包括支援センター	原田 むつみ
13	静岡県立大学 経営情報学部	東野 定律
14	一般社団法人 静岡県医療ソーシャルワーカー協会	矢野 裕基
15	一般社団法人 静岡市清水医師会	吉永 治彦

令和6年度 在宅医療・介護連携推進事業 事業実績

1 静岡市在宅医療・介護連携協議会	2
2 在宅医療・介護連携推進事業	3
3 かかりつけ医の総合的評価による介護予防事業	6

1 静岡市在宅医療・介護連携協議会及び部会

■ 協議会

<計画>

- ・第1回
令和6年度の事業計画の詳細について協議する。
- ・第2回
令和6年度の実績を報告する。

<実績>	日 時	議 題
第1回	5月22日（水） 19:15~20:45	・令和6年度の事業計画について
第2回	3月19日（水） 19:15~20:30	・令和6年度の事業実績報告 ・在宅医療の提供と連携に関する 実態調査について

■ 企画部会

■ 情報共有部会

<計画>

- ・かかりつけ医の総合的評価による介護
予防事業の事業評価・分析等について、
両部会による合同会議で検討する。

<実績>	日 時	議 題
第1回	6月27日（木） 19:15~20:40	・かかりつけ医の総合的評価による 介護予防事業について
第2回	1月30日（木） 19:15~20:30	・かかりつけ医の総合的評価による 介護予防事業について ・在宅医療の提供と連携に関する 実態調査について

■ 啓発研修部会

■ 地域支援部会

<計画>

- ・市民公開講座（10月ころ開催予定）
及び専門職対象研修（1月ころ開催
予定）の企画、運営について、両部会
による合同会議で検討する。

<実績>	日 時	議 題
第1回	7月4日（木） 19:15~20:15	・ACP（人生会議）の普及啓発 について
第2回	12月12日（木） 19:15~20:30	・在宅医等養成研修・専門職研修 報告 ・ACP（人生会議）の普及啓発 について

2 在宅医療・介護連携推進事業

■「自宅でずっと」在宅医療・介護連携推進事業

＜計画＞

・「自宅でずっと」ミーティングは、地域包括支援センターが各圏域で地域ケア会議として継続実施していく。

＜実績＞

・「自宅でずっと」ミーティング 10回実施（令和6年11月末時点）

■医療・介護・福祉スーパーバイザー人材配置事業

＜計画＞

・静岡医師会、清水医師会に、医療・介護・福祉スーパーバイザー各1名を配置し、相談対応、関係機関等との調整を行う。

・各スーパーバイザーと市担当者による担当者連絡会を開催し、情報共有を図る。

＜実績＞

（令和6年12月末時点）

委託先	静岡市静岡医師会	静岡市清水医師会
配置場所	医療・介護連携推進センター（静岡医師会館内）	在宅医療介護相談室（清水保健福祉センター清水医師会内）
主な資格/人数	看護師／1人	保健師／1人
相談延べ件数	163件	162件
主な相談内容 （複数計上）	・在宅療養に関する相談 69件 ・かかりつけ医に関する相談 52件 ・ケアマネジメントに関する相談 24件	・医療・介護の制度、サービスに関する相談 112件 ・在宅療養に関する相談 9件 ・退院・退所等に関する相談 9件
主な相談者	・居宅介護支援事業所 87件 ・地域包括支援センター 46件 ・訪問看護ステーション 14件	・地域包括支援センター 90件 ・居宅介護支援事業所 27件 ・地域（民生委員・地区社協等） 15件
主な対応 （複数計上）	・相談内容の整理、課題の明確化等のための指導助言 91件 ・相談者以外からの情報収集及びその提供 28件 ・制度やサービスに関する理解を深めるための指導助言 20件	・相談内容の整理、課題の明確化等のための指導助言 53件 ・制度やサービスに関する理解を深めるための指導助言 35件 ・制度やサービスに関する情報提供 30件

2 在宅医療・介護連携推進事業

■ シズケア＊かけはしを活用したモデル事業

<計画>

- ・「シズケア＊かけはし」未加入の居宅介護支援事業所及び介護保険サービス事業所（30か所分）の1年間の「シズケア＊かけはし」利用料を静岡市が負担することにより、「シズケア＊かけはし」をツールとし、情報を共有し、連携を図る。

<実績>

・加入した事業所（9事業所）

1	ケアプランセンター長田南	4	デイサービスセンターこだまの杜	7	ゆうあい居宅介護支援事業所
2	訪問看護ステーションエイム	5	居宅介護支援事業所まはえ山崎	8	ケアプラン藍
3	シナジー静岡MY在宅ケアステーション	6	ステッププランやはた	9	訪問看護ステーションわくわく

■ 在宅医療の提供と連携に関する実態調査

【目的】

- ・在宅医療・介護連携推進のための基礎資料として、市内各事業所等の在宅医療・在宅介護に関する運営体制、提供サービスの情報、及び各関係機関の連携における現状や課題を把握する。
- ・調査により把握される在宅医療・介護連携に係る現状から、本市のこれまでの取組の効果検証を行うとともに、現在の課題の解決に向けた取組の検討を行う。

【対象】

- ・市内で登録のある下記事業所等（休止中及び小児科・小児アレルギー科の病院・医科診療所を除く）
病院、医科診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所、訪問リハビリテーション事業所、訪問介護事業所、訪問入浴介護事業所、通所リハビリテーション事業所、通所介護事業所（認知症対応型通所介護含む）

<計画>

- ・令和7年度の調査実施に向け、調査概要を協議していく。

<実績>

- ・第2回企画・情報共有部会合同会議にて協議実施。

2 在宅医療・介護連携推進事業

■ 市民や専門職を対象とした研修会等の実施

<計画>

- ・市民を対象として、在宅医療・介護やACPについて理解促進を図る
- ・専門職を対象として、切れ目のない在宅医療や介護を提供するために相互理解を深め多職種連携を促し、在宅医療に関心をもってもらえる取組を研修内容とし、在宅医療を担う医師等の確保を図る

<実績>

- ・市民向け

在宅医療・介護出前講座 1回実施

エンディングノートの利活用に関する録画コンテンツの配信（令和6年11月より）

「エンディングノート～これからの人生を豊かにしていくために～」17,500部配付

「2024年度版 よくわかる在宅医療・介護 ～住み慣れた「自宅です」と暮らしていくために～」9,000部配付

- ・専門職向け

在宅医等養成研修 及び 専門職研修 2回実施

	静岡市静岡医師会	静岡市清水医師会
研修会名	在宅医療に関する意見交換会	在宅医等養成研修
開催日	令和6年10月26日（土）	令和6年9月10日（火）
参加者数	109人（内、医師5人）	80人（内、医師19人）
研修内容	・講演 「幸せに最期を迎える為の『備え』と『覚悟』 ～エンディングノートの利活用もふまえて～」 座長：かどまクリニック 門磨義隆 医師 講師：平野医院 平野周太 医師 ・事例紹介 ・グループワーク	・講演 「幸せに最期を迎える為の『備え』と『覚悟』 ～エンディングノートの利活用もふまえて～」 座長：吉永医院 吉永治彦 医師 講師：平野医院 平野周太 医師

3 かかりつけ医の総合的評価による介護予防事業

【目的】

・高齢者を対象に、かかりつけ医が日常の受診の機会をとらえ、フレイルに関する「総合的評価」を実施し、高齢者の状態に応じた介護予防サービス等につなげる仕組みをつくり、高齢者の介護予防を促進する。

【対象】

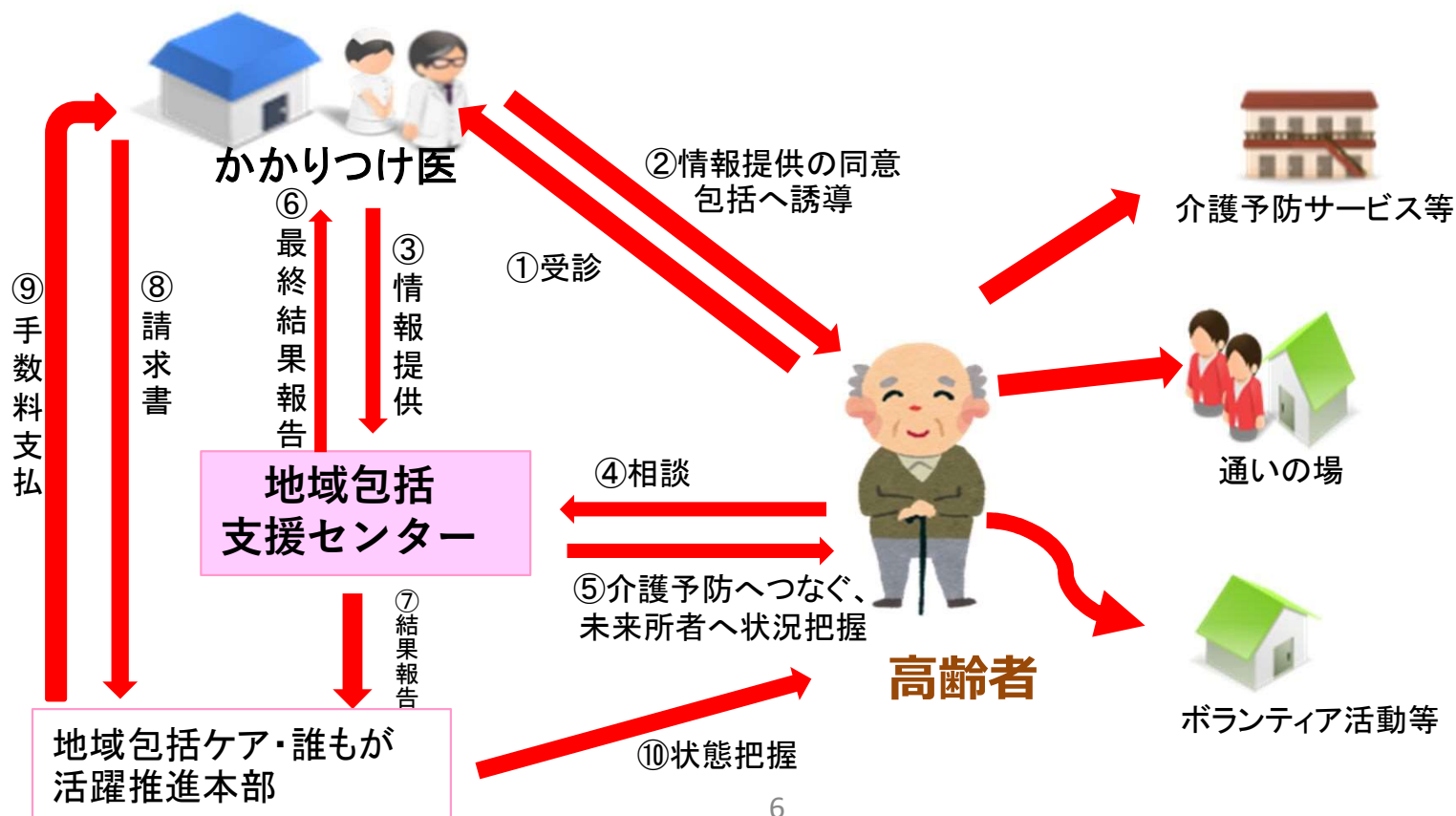
・以下、①～④の全てを満たす者

- ①75歳以上80歳未満、(R7.2月からは、65歳以上) ②介護認定を受けていない、③急性疾患を除く、
④介護予防、他者との交流や社会参加の機会を増やすことが望ましいと医師が判断した方

<計画>

・静岡医師会、清水医師会、地域包括支援センターへの説明及び市民、関係機関への周知を実施し、5月に事業開始。

【概要図】



3 かかりつけ医の総合的評価による介護予防事業

【実績（令和7年1月末現在）】

<取組状況>

- ・事業は、令和6年5月15日から開始
- ・参加かかりつけ医 34件（静岡医師会27件、清水医師会7件）
- ・実施医師数 8人
- ・総合的評価実施件数 44件（令和7年1月末現在）
- ・最終結果報告件数 41件（令和7年1月末現在）

<包括の対応結果内訳（令和7年1月末現在）>

- ・通いの場等を紹介20件
- ・今のところ不要10件
- ・拒否5件
- ・不在5件
- ・介護保険申請1件

<市民からの声>

- ・日頃の健康状況をかかりつけ医に話すと、さっそく本事業に連絡をとってくださり活動の場の紹介に広げてくれた。
すでにボランティアや生活支援サービス活動に参加しているが、参加の意義を再確認し、今後もつづける意義を認識した。
- ・家族と一緒に住んでいても動けない人もいるから、地域をもう少し回って、相談に乗る方がいいと思います。
一人で閉じこもりがちな高齢者に声をかけることで、フレイルや認知症の予防につながるのは良い。
- ・まだ自分の体が1人で動くので今はまだ、あまり考えることはありませんが、これから、その時が来るとしますので、その節はお世話になるとしますので、よろしくお願いいたします。

<今後の予定>

- ・3月末で事業終了。アンケート集計後、分析・評価の実施。

令和4年度 在宅医療の提供と連携に関する実態調査 報告書【概要版】

1 調査目的

- (1) 在宅医療・介護連携推進のための基礎資料として、病院・診療所等の医療機関と居宅介護支援事業所、訪問介護事業所等の在宅医療・在宅介護に関する運営体制、提供サービスの情報、及び各関係機関の連携における現状や課題を把握する。
- (2) 調査により把握される在宅医療・介護連携に係る現状から、本市のこれまでの取組の効果検証を行うとともに、現在の課題の解決に向けた取組の検討を行う。

2 調査対象及び有効回収数

- (1) 調査対象は、令和4年4月1日現在、市内で登録のある下記事業所等
(休止中及び小児科・小児アレルギー科の病院・医科診療所を除く)

調査票 No.	施設種別名		対象箇所数	有効回答数	有効回答率
1	①	病院	25	13	52.0%
	②	医科診療所	455	227	49.9%
2	③	歯科診療所	353	162	45.9%
	④	薬局	410	277	67.6%
3	⑤	訪問看護ステーション	61	37	60.7%
	⑥	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所	3	1	33.3%
	⑦	看護小規模多機能型居宅介護事業所	16	3	18.8%
	⑧	訪問リハビリテーション事業所	18	12	66.7%
4	⑨	訪問介護事業所	160	72	45.0%
	⑩	訪問入浴介護事業所	12	5	41.7%
5	⑪	居宅介護支援事業所	262	186	71.0%
6	⑫	通所リハビリテーション事業所	40	25	62.5%
	⑬	通所介護事業所（認知症対応型通所介護含む）	319	198	62.1%
合 計			2,134	1,218	57.1%

※施設種別不明を除く

3 調査時期

令和4年9月1日（木）～9月22日（木）

4 調査結果の概要

(1) 医療・介護連携について

- ・連携はうまくいっているという回答を平成29年度と比較すると、『全体』では、「うまくいっている」と「まあまあうまくいっている」を合わせた回答が平成29年度の56.5%に対して、今回64.4%と7.9ポイントの増加が認められる。

(2) 終末期患者への在宅医療、ACP（人生会議）について

- ・終末期患者への在宅医療に対応しているという回答は、『全体』では、「対応している」が45.8%（456件）、「対応していない」が50.3%（500件）、「無回答」が3.9%（39件）となっており、平成29年度と比較しても同様の傾向がみられる。
- ・ACP（人生会議）は、『全体』では、「実施している」が11.2%（137件）、「実施していない」が84.3%（1,027件）、「無回答」が4.4%（54件）となっている。

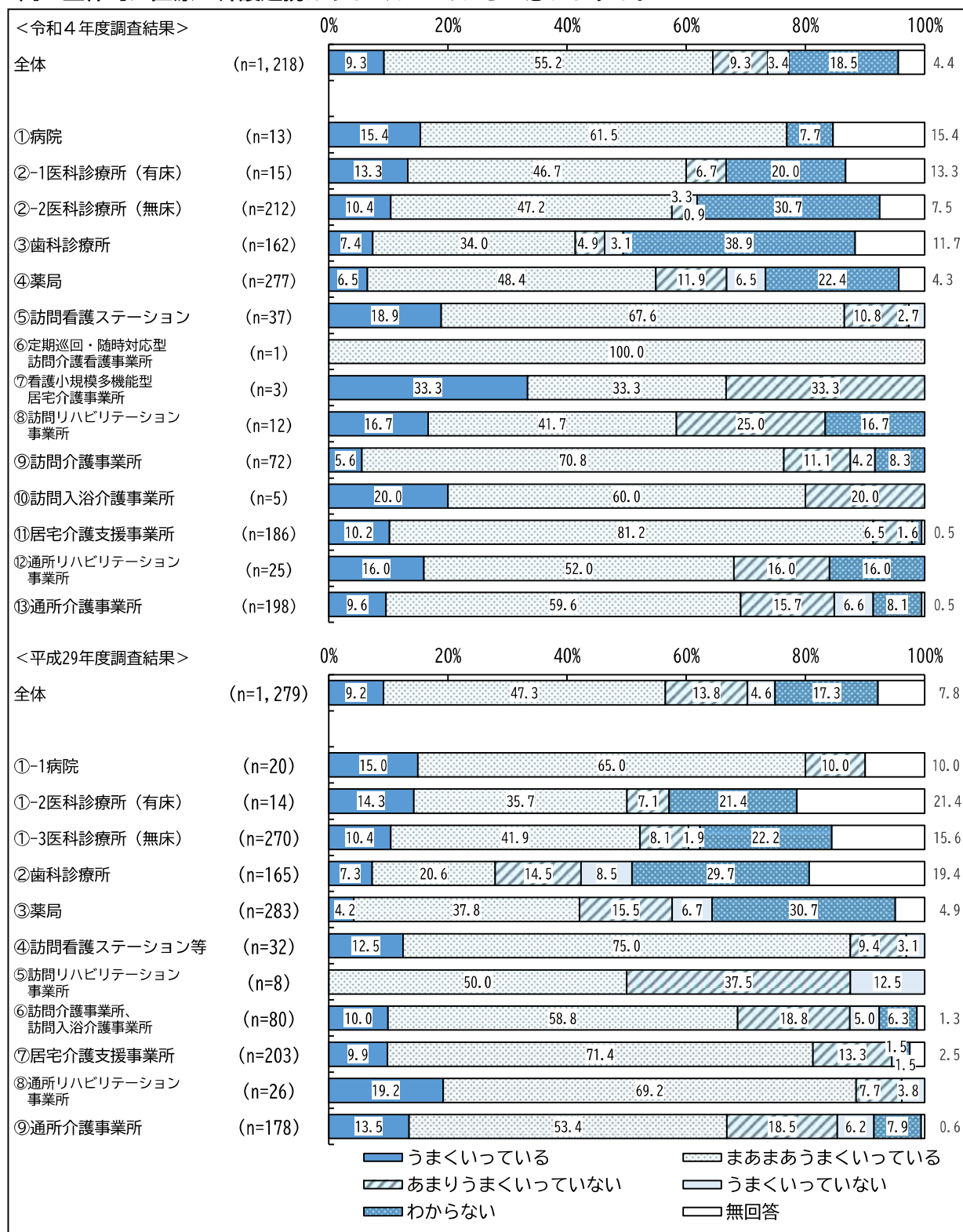
(3) 認知症対策について

- ・事業所で認知症（若年性を含む）の対応を行っているという回答は、『全体』では、「行っている」が56.0%（682件）、「行っていない」が39.3%（479件）、「無回答」が4.7%（57件）となっている。

(4) 多職種間の情報共有について

- ・サービス担当者会議や退院前カンファレンスへの参加はコロナ禍においても対面が主流。
- ・情報共有ツールについても、電話やFAXが主流である。

問 全体的に医療・介護連携はうまくいっていると思いますか。

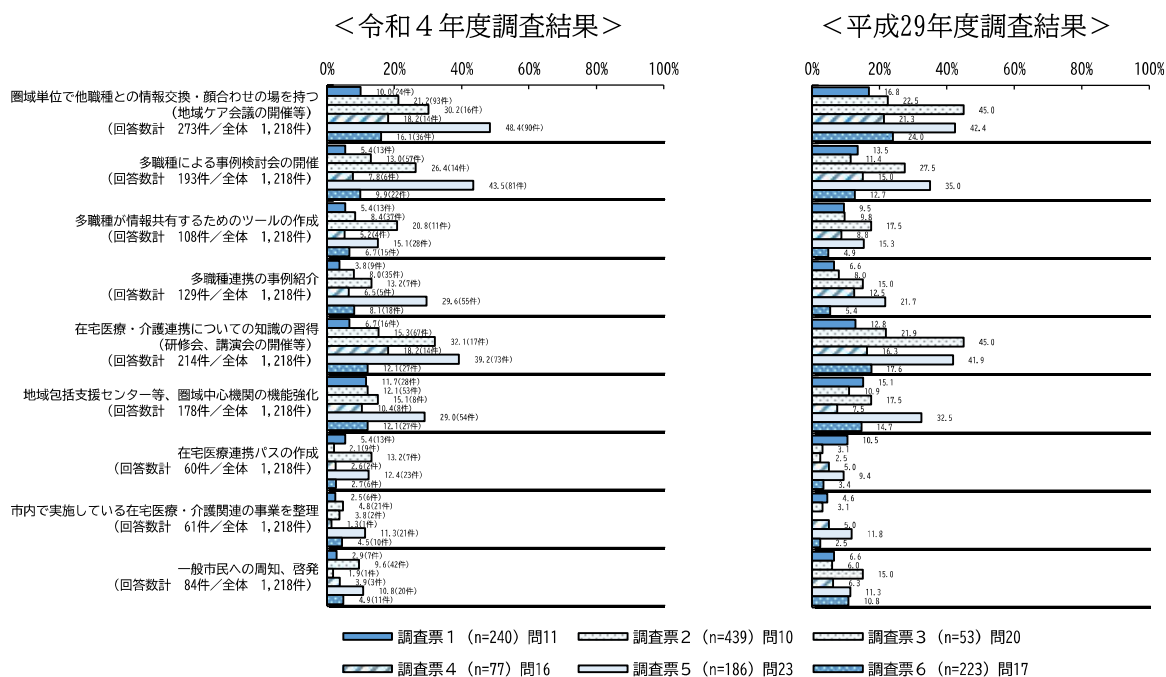


『全体』は、「うまくいっている」と「まあまあうまくいっている」を合わせた回答が1,218件のうち785件(64.4%)、「あまりうまくいっていない」と「うまくいっていない」を合わせた回答が155件(12.7%)となっている。

平成29年度調査結果と比較すると、『全体』では、「うまくいっている」と「まあまあうまくいっている」を合わせた回答が平成29年度の56.5%に対して、今回64.4%と7.9ポイントの増加が認められる。施設種別ごとに経年比較すると、『歯科診療所』では「うまくいっている」と「まあまあうまくいっている」を合わせた回答が27.9%から41.4%へ増加している。一方で『通所リハビリテーション事業所』では、「うまくいっている」と「まあまあうまくいっている」を合わせた回答が減少している。

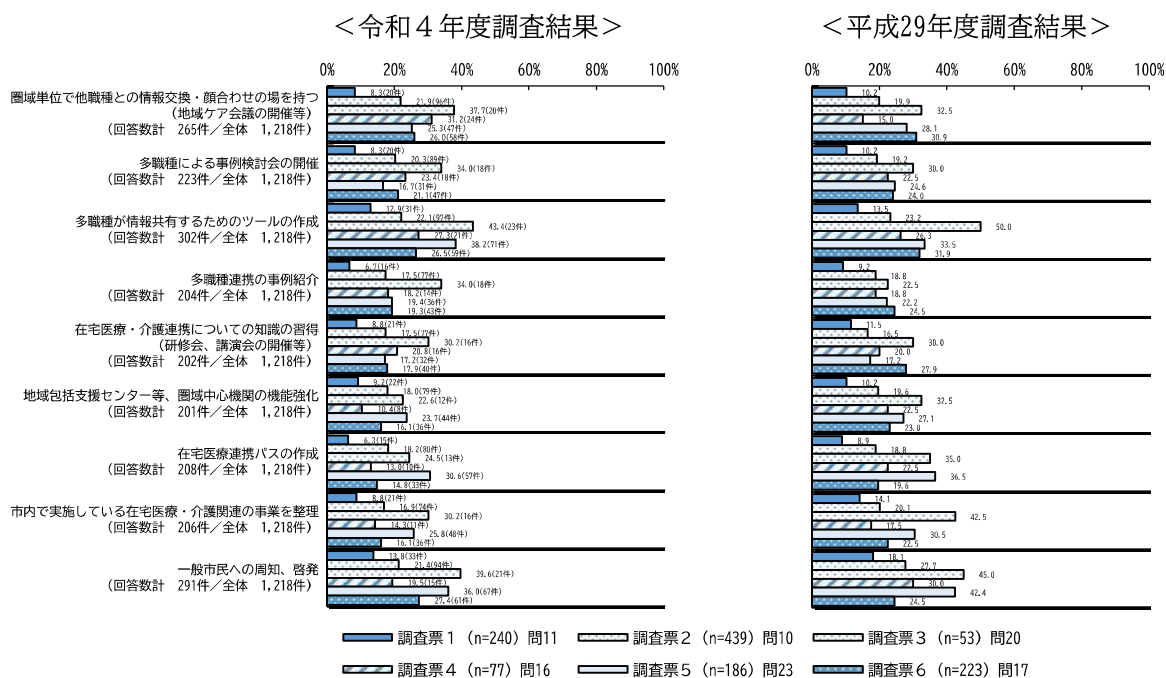
問 在宅医療と介護の連携を進めていく上で、ここ3年間に取組みが進んだと思うことと、今後取組む必要があると思うことはどんなことですか。

【取組みが進んだと思うこと】＊その他及び無回答は除く



『全体』では、「圏域単位で他職種との情報交換・顔合わせの場を持つ（地域ケア会議の開催等）」の回答が、1,218件のうち273件となっている。次いで、「在宅医療・介護連携についての知識の習得（研修会、講演会の開催等）」が214件、「多職種による事例検討会の開催」が193件、「地域包括支援センター等、圏域中心機関の機能強化」が178件となっている。

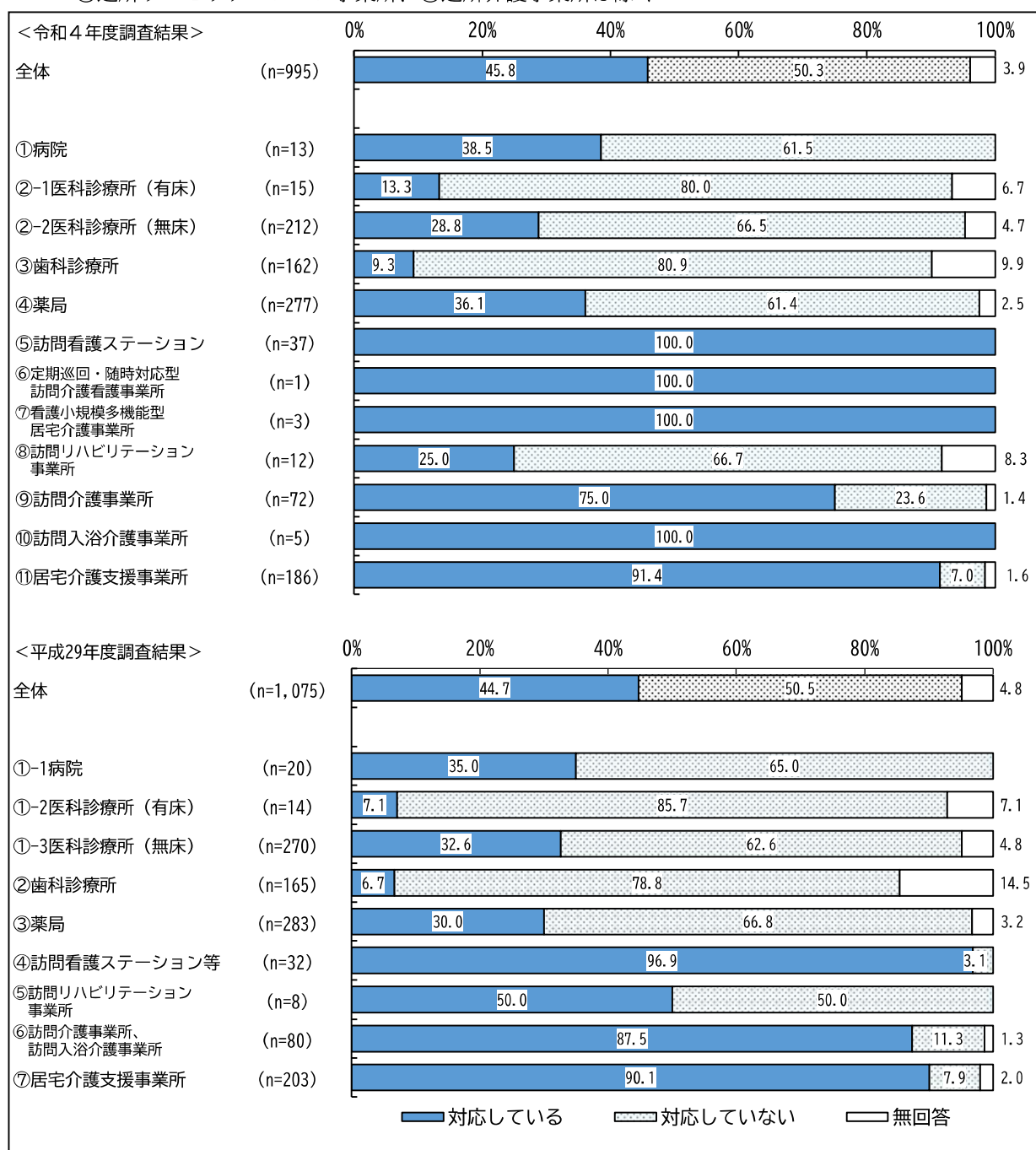
【今後取組む必要があると思うこと】＊その他及び無回答は除く



『全体』では、「多職種が情報共有するためのツールの作成」の回答が、1,218件のうち302件となっている。次いで、「一般市民への周知、啓発」が291件、「圏域単位で他職種との情報交換・顔合わせの場を持つ（地域ケア会議の開催等）」が265件、「多職種による事例検討会の開催」が223件となっている。

問 終末期の段階にある患者の在宅医療に対応していますか。

*⑫通所リハビリテーション事業所、⑬通所介護事業所は除く



『全体』では、「対応している」が45.8% (456件)、「対応していない」が50.3% (500件)、「無回答」が3.9% (39件) となっており、平成29年度と比較しても同様の傾向がみられる。

施設種別でみると、『病院』、『医科診療所 (有床)』、『医科診療所 (無床)』、『歯科診療所』、『薬局』、『訪問リハビリテーション事業所』は、全体の結果より「対応している」が少ないが、平成29年度と比較すると、『病院』、『医科診療所 (有床)』、『歯科診療所』、『薬局』は「対応している」が増加している。

お問い合わせ先

〒420-8602 静岡県静岡市葵区追手町5番1号

静岡市 保健福祉長寿局 地域包括ケア推進本部 在宅医療・介護連携推進係

TEL: 054-221-1576 FAX: 054-221-1577